こすもすぐみ
「お店を作ろう」その２

そもそも射的って何！？

射的を知っている子、知らない子で絵本を見たり、「たなばたさま（ひなまつり）で使う階段みたいなのを使うんやで」と伝え合ったりしていました。

又、射的をどのように作るか気になった子は、「YouTube で調べて見てきてん」と、知ったことをグループで共有し、射的について知ろうとしていました。

言葉による伝え合い

思考力の芽生え

しゃてき

同じ大きさの箱が２つあったら階段みたいになる！？

的は、階段みたいなものに並べたい

ガムテープが一番しっかりくっつく気がする…

（ペットボトル１本分が）倒れるように（幅を調節）したい

射的が完成すると、”的を並べる階段を作りたい”と、箱の大きさを見たり、的が倒れるように試しに倒してみたりし、幅を考えていました。

かき氷、アイス屋さん、ジュース屋さん

かき氷の氷は“フワフワしてるから”綿で見立てて…

色水をかけたら、本物みたい！

様々な形、色、手触りなどに気づき、活かしてみる

何味にしよう！？

紫は、ブドウ味！

豊かな感性と表現

三原色の色水を使い、”お客さんに色々なジュースを作りたい”と目的を持ち、合わせてできる色を予想しながら作っています。

輪投げ

真ん中は難しいし、１００点にする？

言葉による伝え合い

１００に２回入ったら…２００だね

（ペットボトルが倒れないように、）ボンドでくっつけておく？

れんげさんは、１番近い場所から投げれるようにしよう

２番目に近いのは、たんぽぽ、３番目はちゅうりっぷだね

道徳性・規範意識の芽生え

（カラーテープを巻いて）色をつけたい

（新聞紙を丸めて）輪にしよう

数量・文字・図形などへの関心・感覚

輪投げでは、入った棒の位置によって点数を変えています。
又、棒によって点数の違いが分かりやすいように、画用紙を貼ったりクレパスで塗ったりして色分けして工夫していました。